

発言通告書の要旨(一般質問)

平成31年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/7 (木)	1	7 西山彰人	1、保育料の無償化が提案されているが三豊市の状況を伺う	(1)待機児童が増えると思うが、三豊市の状況は。 (2)待機児童対策として保育所の増改築に対する三豊市の財源負担は。 (3)保育料無償化に伴う三豊市の財源負担は。 (4)国に対して三豊市としての意見は。 (5)待機児童対策として、育児休暇の充実を推進する気はないか。
			2、三豊市の学校給食の在り方について	学校給食は、大きくなければ、安全性やアレルギー対策が出来にくいとしているが、小さくても可能と思うが、考えを伺う。
			3、平成31年度の施政方針について	(1)マリンウェーブに支所機能を移転するとあるが、大浜地区の災害対応は。 (2)スポーツの普及について、荘内地区に体育館を残さないのはなぜか。 (3)自主的な活動を支援とあるが、市民が発想した事業に対する協議は。
	2	22 横山 強	1、組織・機構について	(1)近年、頻繁に組織改革ばかりしているが、組織の変革が行政機能を衰退とした原因ではないのかを伺う。 (2)31年度も新規による機構を立ち上げとするが、組織としての機能に伴う職員の配置は万全なのかを伺う。
			2、国道11号の4車線化計画の延伸について	国道11号4車線化計画の延伸について、 (1)国道11号線を鳥坂迄、延伸とする計画はあるのかを伺う。 (2)上記の計画は着手するべきであり、着手とするなら三野町・高瀬町を都市計画区域に着手する時期と、延伸とする時期を伺う。
			3、浜街道4車線化計画の延伸について	今、現在浜街道4車線は詫間松崎で終点となっているが、今後、三豊市政として延伸とする計画と、時期を伺う。
	3	1 近藤 武	1、再犯防止対策について	平成28年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」が公布・施行され、「香川県再犯防止推進計画」の策定がすすめられているが、三豊市の対応を質問する。
			2、保育施設入所・入園に関する施設利用選考基準の点数について	施設利用選考基準の点数表があるが、加点や減点の項目がどのような経緯で策定されたのか、またその内容は公平であるのか質問する。
			3、中学校クラブ活動外部指導員について	クラブ活動外部指導員の役割や、在り方、責任問題、どのようにすれば教職員の負担も少なく生徒にとっても良い指導員が求められるのか質問する。
			4、弁護士職員の採用について	自治体コンプライアンスや住民への説明責任の高まり、職員の負担、業務改善の為に弁護士を職員として採用するべきではないか質問する。
	4	11 石井勢三	1、三豊市の観光について	三豊市の観光地の今後の整備、計画について問う。 (1)紫雲出山は、毎年のように花見シーズンになると、交通渋滞となり、地元の人にとって、大きな問題となっている。対策として、何か計画があるのか。 (2)今、父母ヶ浜が注目を浴び、連日にぎわいの地となっている。また、秋には、瀬戸内国際芸術祭が行われる予定だが、経済効果を高めるためには、宿泊施設の誘致が必要であると考えているが、観光、ビジネスも含めて計画を問う。 (3)今後、観光交流課の設置での観光戦略とは。
			2、就学前の幼稚園、保育所について	保育所の定員オーバー、幼稚園の定員割れが、慢性化している。 (1)保育受け入れ枠の拡大及び保育人材の確保の考えを問う。 (2)待機児童解消、こども園化も含め、幼稚園、保育所の今後の計画を問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成31年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/7 (木)	5	9 込山文吉	1、SDGsについて	(1)SDGsへの取り組みについて考えを聞く。 (2)市役所の業務効率化のため、パソコン自動処理の導入についての考えを聞く。 (3)環境都市宣言について
			2、スポーツ振興について	(1)三豊市総合体育館へのエアコン設置について (2)中学校での部活動拠点校方式の導入について (3)武道場整備の考えを聞く。
			3、脳脊髄液減少症について	脳脊髄液減少症の認識を聞く。
			4、移動期日前投票所開設について	投票率向上の施策として、移動期日前投票所開設が各地で取り組まれている。総務相も「移動支援に要する経費の財政措置」を平成28年から新設して支援をしている。移動期日前投票所開設についての考えを聞く。
			5、業務委託発注について	(1)入札方式について 入札・見積り合わせの判断と比率を聞く。 (2)プロポーザル方式での判定について
3/8 (金)	6	3 湯口 新	1、行政と自治会の関係について	自治会は独立した任意団体であるが、地域にとって重要な団体であり、行政と共に地域のために必要な組織であると考え。そこでお互いの関係を明確化し、その上で適切な協力体制を築くための協定等を締結することを提案する。
			2、これからの観光への取り組みと観光交流局との関係について	これから市が目指していく観光への考え方や取り組みと、デジタルマーケティングの導入、またその中での観光交流局との今後を問う。
			3、デジタル図書館の導入について	スマホやタブレットなどの電子機器が普及し、電子書籍も一般化されてきた。それに伴い、電子図書館も広がりを見せている。導入の検討を提案する。
			4、議会答弁への対応・進捗状況の可視化について	本会議等における一般質問等の答弁に対するその後の対応・進捗状況を、市民に分かりやすい形で公表することは必要だと考え一度質問したが、市の検討結果及び現在の進捗状況を尋ねる。
	7	10 市川洋介	1、薬用作物について	(1)薬用作物の栽培の具体的な取り組みについて (2)日本薬用作物機能植物推進機構との連携について (3)薬用作物の拠点整備と所管部署の関わり方について (4)今後の展開について
			2、AIについて	(1)4月に財田における国内初の東京大学の松尾准教授研究所とのサテライトについて (2)民間企業や行政機関が抱える課題のAIによる解決策について (3)市内のみならず周辺地域や県内、全国に波及させる方法について (4)丸亀以西4市3町の広域連携協議会の発足について
			3、生産労働人口について	(1)国の外国人材の受入、共生のための総合的対応策について (2)国の新しい補助金や助成金について(予算額211億)

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/8 (金)	8	2 高木 修	1、高齢者の運転免許証返納支援策の拡充について	来年度から、福祉タクシー利用券の運用ルールが改訂される。運転免許証を返上していれば、70歳からチケットを受け取ることが出来る。コミュニティバスチケットにも交換可能で、大きく前進と考えていいと思う。 ただ、高齢者福祉施策としてみた場合、今少し運転免許証を返納しやすい環境づくりも必要と考える。第一にコミュニティバス路線網とダイヤの充実、第二に自宅周辺でバイクのみ使う原付免許保持者に対して、実態を確認したうえでの例外扱い、などの方策が考えられるが、執行部の見解をお聞きしたい。
			2、道路保守メンテ体制の強化について	市民生活にとって道路は、最も重要なインフラのひとつであり、挙がってくる要望も、道路関連の案件が圧倒的に多いのが実情である。 ところが、それらをこなしていくための予算やマンパワーが、決して充分とは言えないと感じられる。特に災害が多かった昨年などは、その対応に追われ、通常業務に手が回りきらなかったことも否めないと思う。ただ、積年の課題に市民は答えを待っており、適正な予算の確保とマンパワーの充実が必要と思うが、見解を問う。
	9	19 川北 善伴	1、自主防災組織と避難場所について	(1) 自主防災組織の現状は。 (2) 組織化の今後の推進にどのように取り組んでいくのか。 (3) 指定避難所と一時避難場所の違いについて (4) 災害時における避難者への備蓄品の配布方法について
			2、公共施設の再配置について	今後の公共施設再配置等における提案公募型の財産処分の方針について
			3、的場排水機場の現状について	今ある3台のポンプの整備後の排水能力の不足分について、増設はあるのか。
	10	18 坂口晃一	1、組織・機構の効率が低下してはいないか。	(1) 公共施設や利活用の方針を問う→計画の変更が多いが、今後について問う。 (2) 公共施設の再配置の効率、財政改善の効果と目的は何か。 (3) 職員の努力が報われる組織になっているか。特に、市民の声が市政に反映しているか問う。
			2、企業・振興への計画と対応策について問う。特に、人口減少に伴う働く場の確保について。	(1) 工業用水の確保 詫間臨海部と内部工業団地への供給計画について (2) 農業用水の工業用水への転用について、考え方は。 (3) インフラ整備に特例債の活用計画について 大胆に加速しないと手遅れになるが、見解を問う。
			3、市立病院の建設について。計画性に問題が多いと思うが。	(1) 人口減少の加速の中で、市立病院2ヶ所の将来展望はあるか。 (2) 場所 災害多発の時の災害対策、地盤、交通の便(出入口)等、市民全体が市民病院の意識の持てる位置か。 (3) 規模 199床→130床→122床の理由、10科目が11科目で医師確保等、経営に問題はないか。

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/8 (金)	11	14 金子辰男	1、デジタル移動系防災行政無線整備について	平成30年度においてデジタル移動系防災行政無線を整備しているが、整備に至った経緯、整備内容、及び整備後の活用方法、予想される効果を伺う。
			2、韓国ヨイド中学校との交流及び韓国慶尚南道ハプチョン郡との交流について	香川県下では唯一、韓国自治体と姉妹都市交流を行っている三豊市。中学生の交流もあり、生徒には、どのような説明を行い、交流しているのか、今後も継続していくであろう姉妹校縁組がより友好的で、多くの三豊市民に十分理解していただき、より良きものになるように双方の理解を深めるよう取り組んでいけているのか伺う。
			3、文書館、並びに公文書管理について	山本町にある三豊市文書館は、旧山本庁舎をリニューアルして使用しているが、老朽化のための雨漏りなど不具合は改善されたのか。現状とこれからを伺う。またこれまでの紙ベースの文書管理システムに加えて、デジタル化された文書の管理システム、閲覧システムの構築も必要になると思う。文書のライフサイクルの見解を伺う。文書館の行事の現状と課題、合わせて手狭になりつつある文書館のこれからを伺う。
			4、GW10連休の市役所の対応について	皇位継承に伴う4月27日から5月6日までの10連休、市民生活に支障が生じないよう、その対策を聞く。
	12	13 岩田秀樹	1、「LGBT」差別禁止の取り組みについて	昨年は「世界人権宣言」採択70年。依然としてさまざまな人権問題が存在している。さまざまな人権問題として、16種類が示されている。制度導入に向けて、どう考えているのか。職員・市民・議員に向けた研修についての考え方はどうか。
			2、10連休における、保育所、学童保育など子育て環境の対応について	子育て世代の親は、全ての世帯で10連休に対応して休日になっている状況ではない。この期間、休日でない家庭においても保育、学童保育が受けられるような取り組みはできないか。
			3、妊婦さんを対象にしたタクシー券の交付の検討について	福祉タクシー券の取り組みが変更されようとしている。今回の改訂は、免許を持っていない方に対する補助制度を実施することである。事業名は異なるかもしれないが、核家族が増えた中で妊婦さんに対するタクシー券補助を高齢者と同様実施するべきと考える。
			4、保育士の処遇改善の進展状況について	昨年度国の施政方針で「これまで、保育士の皆さんの処遇を月額3万円相当改善し、更に経験に応じて4万円の加算を行ってきた。これに加えて、今年度、月額3千円の処遇改善を実施する。」と新聞で報道されていたが、実態はどうなっているか。
			5、地域経済循環をどのように進めようと考えているのか	地域おこしの方針が示されているが、地方創生が今のところ、成果を上げていない。少子化対策の成果を上げない限り、将来にわたる地域の発展は考えられない。新規にブロック塀の撤去の補助等が行われる予定になっているが、昨年も抽選となり好評であった住宅リフォーム助成制度も打ち切りとなった。地域経済循環をどのように今後進めていくのか。